

科目名	認知心理学特講	担当者	シミズ 清水 ヒロユキ 寛之	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	----------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	認知心理学の立場から、人間の認知過程に関する諸問題のうち、とくに記憶と認知的傾向に関連した基本的テーマを取り上げ、テキストの読解を通じて、これまでの主要な研究成果を理解する。認知心理学が用いる実験心理学的方法論にも関心をもち、実験室場面および日常生活場面におけるさまざまな認知・記憶の働きを学ぶ。さらに、認知・記憶の生涯発達の側面および文化・社会的側面についても理解を深める。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知心理学の研究対象や研究方法について説明できる。</li> <li>・人間の記憶について説明できる。</li> <li>・人間の誤信や迷信について説明できる。</li> <li>・自身の研究テーマと認知心理学のこれまでの研究成果を結びつけることができる。</li> </ul>		
学修方法	年度内に二つの基本教材に対して、それぞれ二つのレポート課題を与えられる。事前に定められた期日までに課題のレポートを提出し、指導コメントに従って加筆修正を行いながら、最終提出レポートを作成する。		
スケジュール	<p>前期：基本教材1のレポート課題1の草稿は7月末、レポート課題2は8月末をめどに提出できるように、学生自身が各自の学修計画を定める。 いずれのレポート課題も9月中旬までに最終稿を提出する。</p> <p>後期：基本教材2のレポート課題1の草稿は11月中旬、レポート課題2は12月中旬をめどに提出できるように、学生自身が各自の学修計画を定める。 いずれのレポート課題も1月の課題提出締切日までに最終稿を提出する。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	100%	レポート課題の内容及び目標設定をきちんと理解し、適切な内容を含み、レポート形式と文章表現が小論文として相応しいものであること。
	平常評価		
履修者への要望	<p>自身の心理学への興味や関心を明確化し、各自の研究テーマに関連づけながら、レポートの作成に励んでいただきたい。</p> <p>レポートの形式（とくに引用文献リスト）については、日本心理学会の「執筆・投稿の手びき」を参考にしてほしい。日本心理学会のホームページで閲覧・ダウンロードが可能である。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>著者名： 高橋雅延（著）            教材名： 『変えてみよう！記憶とのつきあいかた』（岩波書店，2011年）            ISBN:978-4-00-025808-1 1,700円+税 【紀伊國屋ウェブストアは在庫僅少です】</p> <p>人間の記憶における諸側面について認知心理学の立場から解説している。以下の章から構成されている。第1章：自分も、人生も、記憶がつくりあげる／第2章：絶対に忘れたくない！—どんな記憶が残るのか／第3章：忘れたいのに忘れられない嫌な記憶はなくせるか／第4章：あれは本当だったのか？—偽りの記憶／第5章：記憶を生かして、よりよく生きる</p>
参考図書	<p>井上毅・佐藤浩一編著『日常認知の心理学』（北大路書房，2002年）ISBN:978-4-76-282242-1 3,400円+税            高橋雅延『記憶のふしぎがわかる心理学』（日本実業出版社，1999年）ISBN:978-45-3-403002-3 1,300円+税            森敏昭編著『おもしろ記憶のラボラトリー』（北大路書房，2001年）ISBN:978-4-76-282221-6 2,500円+税            巖島行雄・仲真紀子・原聰『目撃証言の心理学』（北大路書房，2003年）ISBN:978-4-76-282327-5 2,200円+税            清水寛之編著『メタ記憶』（北大路書房，2009年）ISBN:978-4-76-282627-6 3,000円+税</p>
履修上のポイント	<p>私達は、日常生活の中で、誰かの名前を思い出せなかったり、大事な約束を忘れてしまったり、あるいは、いつまでも頭から離れないことがあったりする。こうした人間の記憶に関わる素朴な疑問は尽きない。このテキストを通じて、人間の記憶をめぐるさまざまな問題とこれまでの認知心理学における研究知見を理解し、記憶という精神機能の果たす役割について深く考えてもらいたい。</p>
レポート課題 1	<p>本書の全体をひととおり読んだあとで、第1～5章のなかから、自分が関心をもった章の一つを選び、要約しなさい。さらに、なぜその章に関心をもったのか、その理由を述べなさい。A4判（40字×30行）3枚程度。  <b>留意点</b>：当該の章を、過不足なく、わかりやすく要約してほしい。その際、未知の専門用語については、心理学事典などで調べ、適宜、補足説明してほしい。また、当該の章を選択した理由についてもわかりやすく述べてほしい。</p>
レポート課題 2	<p>レポート課題1で選択した章のなかで、とくに興味深かったトピックを取りあげ、これまでの認知心理学の研究知見（記憶現象、実験事実、記憶理論など）を調べ、まとめなさい。A4判（40字×30行）3枚程度。  <b>留意点</b>：自らを取りあげたトピックに関連づけて、記憶が精神機能の一環としてどのような役割を担っていると考えられるかについても言及してほしい。</p>

基本教材 2	
教材の概要	<p>著者名： T・ギロビッチ（著） 守一雄・守秀子（訳）            教材名： 『人間この信じやすきもの—迷信・誤信はどうして生まれるか』（新曜社，1993年）            ISBN:978-4-78-850448-6 2,900円+税 【紀伊國屋ウェブストアは在庫僅少です】</p> <p>人は、なぜ迷信・誤信に陥るのか。心理学の知見をもとに、誤信念や根拠に乏しい考えを修正できないことの意味を解説する。1. はじめに／2. 何もないところに何かを見る／3. わずかなことからすべてを決める／4. 思い込みでものごとを見る／5. 欲しいものが見えてしまう／6. 噂を信じる／7. みんなも賛成してくれている／8. 種々の「非医学的」健康法への誤信／9. 人づきあいの方法への誤信／10. 超能力への誤信／11. 誤信への挑戦</p>
参考図書	<p>菊池聡・谷口高士・宮元博章編著『不思議現象 なぜ信じるのか—こころの科学入門』（北大路書房，1995年）            ISBN:978-4-76-282032-8 1,900円+税            菊池聡・木下孝司編著『不思議現象 子どもの心と教育』（北大路書房，1997年）            ISBN:978-4-76-282089-2 1,900円+税            海保博之『人はなぜ誤るのか—ヒューマン・エラーの光と影』（福村出版，1999年）            ISBN:978-4-57-121032-7 1,800円+税            下條信輔『サブプリミナル・マインド』（中央公論新社，1996年）ISBN:978-4-12-101324-8 800円+税            菊池聡『超常現象の心理学』（平凡社，1999年）ISBN:978-4-58-285028-4 660円+税</p>
履修上のポイント	<p>私たちは、なぜ誤った事柄を信じ込むのか。日常生活の中で人間は数多くの誤信念をもっている。教養ある人間であっても、しばしば真実を誤って捉え、根拠のない思い込みに左右されて行動する。誤信や迷信はどうして生まれ、個人や社会の中で植え付けられていくのか。それらに立ち向かうにはどうすればよいのか。このような問いについて、テキストを手がかりに、認知心理学の研究知見にもとづいて考えてもらいたい。</p>
レポート課題 1	<p>本書の全体をひととおり読んだあとで、第1～10章のなかから、自分が関心をもった章の一つを選び、要約しなさい。さらに、なぜその章に関心をもったのか、その理由を述べなさい。A4判（40字×30行）3枚程度。  <b>留意点</b>：当該の章を、過不足なく、わかりやすく要約してほしい。その際、未知の専門用語については、心理学事典などで調べ、適宜、補足説明してほしい。また、当該の章を選択した理由についてもわかりやすく述べてほしい。</p>
レポート課題 2	<p>レポート課題1で選択した章のなかで、とくに興味深かったトピックを取りあげ、それに関するこれまでの認知心理学の研究知見を調べ、まとめなさい。A4判（40字×30行）3枚程度。  <b>留意点</b>：自らを取りあげたトピックに関連づけて、迷信や誤信が精神機能の一環としてどのような役割を担っていると考えられるかについても言及してほしい。</p>